

～ 世界一受けたい授業 ～ 「腎移植の現状と問題点」

日 時 : 平成 23 年 7 月 6 日 (水) 16:10~17:30

会 場 : 弘前学院大学 本校舎 4F 大講堂

司 会 : 青森県腎臓バンク 運営委員長
弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授 大 山 力

開会のことば 青森県腎臓バンク 運営委員長 16:10~16:15
弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授 大 山 力

16:15~16:35 (講演 15分 質疑応答 5分)

講演 1) 「腎臓の役割と腎不全 (各種治療法の紹介と問題点の把握)」

弘前大学 医学部附属病院 腎臓内科 藤 田 雄

16:35~16:55 (講演 15分 質疑応答 5分)

講演 2) 「生体腎移植と献腎移植 (腎臓を誰から頂くか? 脳死と心臓死はどう違う?)」

弘前大学大学院医学研究科先進移植再生医学講座 畠 山 真 吾

16:55~17:10 (講演 10分 質疑応答 5分)

講演 3) 「臓器移植コーディネーターの役割」

青森県臓器移植コーディネーター 鈴 木 旬 子

ま と め 青森県腎臓バンク 運営委員長 17:10~17:30
弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授
「よくわかる 腎移植」 大 山 力

腎臓移植 もっと知って

弘前学院大

県腎臓バンク運営委セミナー

看護学生180人真剣に

県腎臓バンク運営委員会は6日、弘前市の弘前学院大学で本年度の県腎臓バンクセミナーを開き、同大学の看護学科の学生約180人が、法的に脳死と判定された患者から臓器移植が行われるまでの流れなどを学び、腎臓移植手術について理解を深めた。

(寺沢龍哉)



移植手術をめぐっては、2010年7月の改正臓器移植法施行により、本人の意思が不明でも家族の承諾があれば、法的に脳死と判定された患者から臓器移植が可能になった。

しかし、腎臓移植手術を多く手掛ける大山

力委員長(弘前学院大学看護学教授)は、国内には腎臓移植を待つ人が依然多い現状を説明した上で、「簡単にできることの一つとして、多くの人が臓器提供の

意思表示カードを持つてほしい」と、強く訴えた。

また、元看護師で県臓器移植コーディネーターの鈴木旬子さんは、看護師を目指す学生たちに「移植を承諾する家族たちは迷い、苦しみながら決断する。皆さんは、そんな家族に寄り添い、心のケアができる看護師になってほしい」と呼び掛けた。

同委員会は年1回、県内の医療系の学部がある大学でセミナーを開いている。

大山委員長らの説明に聞き入る学生たち